



テュートリアル課題 新生活が始まって

著者名	東京女子医科大学
雑誌名	テュートリアル課題
巻	2016
号	S4
発行年	2016-09-21
URL	http://hdl.handle.net/10470/00032683

2016年度 Segment. 4

課 題 No.2

課題名：新生活が始まって

課題作成者： 第一内科学
第一内科学

武山 廉
八木 理充



無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください。

シート1

ナオコさんは24才。東京での就職が決まり、実家を出て都内のマンションで新生活をスタートさせました。引っ越しから2週間、ナオコさんは明け方に、胸でヒューヒューと音がなり咳をして、目がさめました。ああ息苦しい、水を飲んだら少し落ち着きました。会社で友だちに話したら、仕事のストレスじゃない、と笑われました。でも息ができないのは苦しいなあ。ナオコさんは、食事をのどに詰まらせた時のこと、高校時代のマラソンが苦しかったこと、就職試験で胸がドキドキ苦しくなったことを思い出しました。

シート2

新生活が始まり1ヵ月。ナオコさんは体がだるく、胸でヒューヒューという音がするのと、咳が続いています。友だちから、ずっと変な咳をしているわねと言われ、近くの内科クリニックを受診してみることにしました。クリニックでは先生からいろいろと質問され、そして聴診のあと、「異常があるから、大きな病院を受診して検査を受けたらどうでしょう。」と言われました。怖いなあ、いったいどんな検査を受けるんだろう？

シート3

受診後2週間、咳と痰はまだ続いています。ナオコさんは大きな病院の呼吸器内科を受診しました。呼吸器内科の先生に、風邪をひくと咳が長引くこと、明け方に胸でヒューヒューと音になること、花粉症があること、職場のエアコンが直接体にあたること、実家で猫を飼っていること、タバコを吸っていることを話しました。その日も異常音を指摘され、胸部エックス線と呼吸機能検査を受けました。そして帰りに血液と喀痰検査を受け、薬を処方されました。

シート4

ナオコさんは2週間後、呼吸器内科を再診しました。吸入を始めてからは、ヒューヒューという音も咳もすっかりよくなりました。ヒューヒューと音がなったのは空気の通り道が狭くなっていたからだと言われました。胸部エックス線は異常がなかったようです。前回の検査結果を渡され、しばらくは月に1回通院して、呼吸検査で状態をみてゆくことになりました。診察の終わりに、先生はナオコさんに副流煙の話をしました。会社で吸う場所もないし、タバコを止めようとナオコさんは決意しました。

シート5

ステロイドと長時間作用型 β 刺激薬の配合吸入薬を開始してから、ナオコさんの症状はすっかりよくなりました。徐々に薬を減らしてゆくことを説明されました。ニコチン貼付薬も禁煙薬も使用せず、たばこをやめることができました。呼気検査は正常範囲内です。東京での生活はとても快適になりました。